学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

華やかに 第８回埼玉フェスタ
仲間との交流を楽しんだ２日間
満席だった來生 新 副学長の講演

第8回フェスタは、10月11日と12日の両日開催された。普段静かな学習センターに大勢の学生や同窓生などが集い、華やいだ二日間となった。各サークルは日ごろの成果を発表するとともに、会員以外の参加者に手ほどきをするなど、楽しい企画が相次いだ。

緋毛氈が華やいだ雰囲気の茶席

みんなで楽しんだベリーダンス

11日（土）

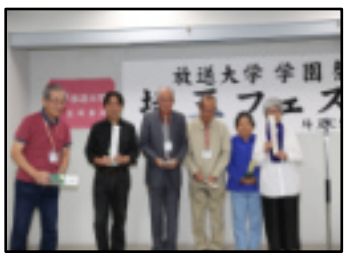
講堂では、イベントのトップを切って、ソシアルダンスクラブがフォーメーションダンスを披露。12時半からは、未来の会による民話の継ぎ語り「口のきけなくなった娘」ほかが行われた。

14時からは、來生副学長による公開講演会「200カイリ時代の日本の海の管理」が行われ、100名を超える聴衆が集まり、終了後の茶話会でも熱心な質疑が続いた。

第1講義室では、12時半から熟年会による公開勉強会。講師は関東財務局の川瀬管財第1部長で「国有財産の現状」について解説があり、参加者との間で活発な質疑応答が行われた。

12日（日）

8階講堂では11時から健康体操研究会によるストレッチ体操、ダンス体操、ベリーダンスなどがあり、参加者も楽しい汗を流した。13時からは朗読の会「こころ」による朗読劇「平家断章」と「百貨店残影」が上演され、美しい日本語が披露された。14時45分からはオカリナ同好会「オンチーズ」による美しい音色が聴衆を楽しませた。


俳句・川柳の入選者諸氏

第1講義室では13時からサークルおおみやによる恒例のDVDオペラ鑑賞が行われ、ワグナー作曲「さまよえるオランダ人」が上映された。また、実習室では10時から熟年会によるパワーポイントを使ったプレゼンテーションの講習があった。

二日間共通イベント

第2講義室では5団体の活動が写真やポスターなどで紹介され、第3講義室では4団体によるバザーが開催された。図書館の不用図書の無料配布とバザーの品々に買い物客が集まり、賑わった。

第4、第5講義室では26点の個人作品の展示が行われ、それぞれの力作に鑑賞者は感嘆していた。また、同会場では、企画展示として、埼玉、福島、山梨の3学習センターの写真パネルの展示、絵手紙教室、模型電車の走行実演などが開催された。

9階ロビーでは、恒例の茶席が設けられ、黄緑の長椅子に赤い毛氈が映え、季節の花や野菜が飾られ、別世界のような優雅な空間で、客人は抹茶のサービスを堪能した。

俳句・川柳大会では各17句の投句があり、鑑賞者の選句により、各3句の入選作品が交流パーティで表彰された。

俳句入選句

新学期教科書のしおり　堀江加壽代
踏まず行く上野の山の紅葉かな　川面より子
石仏巡る旅路の散落葉　加治原二仁
彼岸そば　富田尚隆

川柳入選句

天井のLEDにおめでとう　篠田安彦
愚痴がへり餅噛む音の介護妻　川島紀男
センスある風吹かせたい内輪もめ

笑顔と楽しい会話が弾む交流パーティ

フェスタの最後を飾る交流パーティは100人を超える参加者で賑わい、あちらこちらで交流の輪が広がった。プロのアコーディオン奏者清水さんの伴奏で全員の合唱があり、また大抽選会では当選番号に一喜一憂するなど会場は大いに盛り上がったが、時間となり別れを惜しみながら散会した。

第８回埼玉フェスタを顧みて
埼玉ＣＳＣ交流会　代表　嶋﨑洋明

第8回埼玉フェスタは、10月11日（土）・12日（日）の2日間、埼玉学習センターで開催されました。

放送大学の來生　新副学長の公開講演会「200カイリ時代の日本の海の管理」講演会の後に、來生副学長を囲んで茶話会が開催され、皆さんの意見交換が行われました。

最後に、恒例の懇親会パーティが開催され、来賓の同窓会連合会の情報委員会委員長をなさっている斎藤様にご祝辞を頂き、平野事務長の乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

「フェスタ」の目的は、学生同士、同窓会員、教職員の皆様との仲間意識を高め、交流の輪を広げる場の提供と認識しております。

実行委員、学習センター、同窓会の皆様のご支援、ご協力を賜り、盛大に開催されましたことに厚くお礼申し上げます。

平成27年4月入学 学生募集

平成27年度4月入学の学生募集が始まります。

皆さんの周りに放送大学に興味・関心のある方がおられましたら是非、ご紹介ください。紹介された方が入学した場合、図書カードを進呈します。

出願期間　第1回募集
12月1日（月）～2月28日（土）本部必着

第2回募集
3月1日（日）～3月20日（金）本部必着

オープンキャンパスを開催します

下記日程にて、個別相談を含むオープンキャンパスを開催します。在学生も参加できます。

開催日　12月7日（日）、1月17日（土）

時　間　いずれも14時～

内　容　大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、施設見学、個別相談など

通信指導の提出 11月28日まで

通信指導の提出期限は、11月28日（金）です。忘れずに提出しましょう。答案を提出しないと単位認定試験が受けられなくなりますので注意してください。

面接授業の追加登録 空席の確認を

面接授業の追加登録は空席があれば、原則として最初の開講日の1週間前まで受付しています。まだ空席のある科目もありますので、ご確認のうえ申し込みください。

なお、授業準備の都合上1週間前まで受け付けられない科目もありますので、ご注意ください。

臨時閉所のお知らせ

平成26年12月28日（日）および平成27年1月4日（日）は臨時閉所します。平成27年の開所初日は1月6日（火）となりますので、お間違えのないようにご注意ください。

公開講演会・公開講座のご案内

①日時＝平成26年11月29日（土）14時～15時半
テーマ＝「インターネットは私たちの日常生活を変えるのか？」
講師＝高橋秀明（放送大学准教授）
場所＝三郷市立端沼市民センター

②日時＝平成26年12月14日（日）14時～15時半
テーマ＝「地域の公共交通を考える」
講師＝安藤　陽（放送大学埼玉学習センター客員教授）
場所＝秩父市歴史文化伝承館

③日時＝平成26年12月21日（日）14時～15時半
テーマ＝「心理学への誘い～自分と他者理解のための座標軸～」
講師＝小野けい子（放送大学教授）
場所＝埼玉学習センター8階　講堂

探訪コーナー
千葉学習センター　放送大学埼玉同窓会　会長　森岡加代

10月17日（金）18日（土）、千葉学習センターに於いて関東甲信越地区同窓会交流会が開催された。本部のお膝元だけあって2階建ての広々とした建物である。1階には事務室や講義室・実験室等があり、エントランスホールの奥にはメインラウンジが広がっている。吹き抜けになっているこの空間は開放感があり、ガラス張りの外に目をやると、シンボルツリーの下に白いテーブルとイスが配置されている。交流会は2階の特別研修室で行なわれた。2階には大講義室や多くの講義室・同窓会室などがある。この学習センターでは20余のサークルが活動しており、テニス関係だけでも3サークルという環境にある。

千葉学習センター

またメインラウンジに飾られた学生さんの絵画や写真の作品群が来訪者を温かく迎えてくれる。さすが千葉学習センターである。会議に先立ち、大学本部の放送施設と附属図書館の見学会が行なわれた。実は、学生新聞第一号の「探訪コーナー」は千葉本部で、これらの見学をさせて頂いたのを懐かしく思い出す。最初に、放送中の画像の監視や地上波と衛星波の監視を行なう演奏所や、放送授業の録画撮りを行なうスタジオを見学した。スタジオではプロデューサーから直接の説明を受け、放送授業を制作するご苦労を実感した。次に向かった附属図書館では蔵書の多さや、利用システムなど、見どころは満載。特に3階の展示コーナーでは、古い文献やちりめん本などの前で皆の足は止まったままであった。

見学後行なわれた会議は、役員会も同時開催されたため、北は北海道から南は広島まで総勢21名の出席があった。内容は各委員会からの報告や問題の提起、特に大学との連携については時間を越えて議論が交わされ、尽きぬ論議は宿泊場所である本部隣の幕張国際研修センターまで持ち越して翌日まで続けられた。

今回千葉学習センターに伺い、一番心残りなことは、全国50学習センターのセンター長のうち、たった2名の女性所長の一人である宮野モモ子先生が不在でお会いできなかったことである。今度は宮野先生に会えるよう千葉学習センターを訪ねたいと思った。

学生手帳
「危険ドラッグ」　笹原誠二

近頃、「危険ドラッグ乱用の拡大」が、様々なメディアで盛んに報道されている。服用すると、短時間で悪夢のような幻覚が生じ、意識喪失、呼吸困難といった症状となり、救急搬送されるケースや服用による交通事故が頻発して、社会的にも大きな問題となっている。

危険ドラッグは一時的な気分の高揚や多幸感、不安からの解放感を体験できるが、薬物の使用が習慣化し、心身ともに薬物依存状態が継続するようになる。そして、最後は脳神経に作用して、興奮作用や幻覚などの精神症状を示すようになるのだ。多量に摂取すると、嘔吐、呼吸困難、頻脈や痙攣を引き起こし、死に至るケースもあるといわれている。

テレビや新聞などの報道でも大問題となっているが、従来の大麻の服用以上に薬物依存性が強く、意識障害に陥る危険性も高いため、車の運転中に摂取すれば、本人はもちろんのこと、周囲にいる多くの人を事故に巻き込む可能性もある。

危険ドラッグに手を染めることは、悪魔に自分を売り渡すようなものであり、きっぱりとその誘惑を断つ勇気が肝要だろう。ドラッグを所持・服用することで事故を起こした場合の、罰の適用の検討なども大切だが、何よりも、服用・乱用防止のための未然の啓蒙教育・施策の強化が必要であると思う。

世界遺産「富岡製糸場及び絹産業遺産群」⑤ 高山社跡

荒川良雄

今回は世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」のうち「高山社跡」（たかやましゃあと）について記載する。学生新聞第34号記載の「高山遺跡」は誤記の為「高山社跡」と訂正し、誤記をお詫びいたします。

「高山社跡」と聞いた人・文字を読んだ人は首をかしげる、「高山社跡」は世界遺産に指定されているので英文では“Takayama-shia Sericulture School”(sericulture＝養蚕）Birthplace of Seion-iku method which became the standard in modern Japanese sericulture technology.――と表現されている。

高山社跡は、群馬県藤岡市高山に所在する。日本の絹産業発展の原動力となった養蚕飼育法「清温育」が生み出された土地である。明治の近代化を推し進める政府は、機械製糸の模範工場を富岡に建設し絹を主要な輸出品と位置づけ、養蚕の収量増産のため調査研究を開始したが、これらとは別に、地元の旧家出身の高山長五郎は養蚕家の求めに応じ、自ら開発した養蚕法を指導しその普及に努めた。また、高山長五郎は

静かな佇まいの高山社跡

単に飼育法のみに止まらず、学理を重視し若い人材育成に努め、全国に多数の門人を輩出した。高山の「清温育」は明治中期から大正年間にかけて、日本の標準的養蚕飼育法として認知された。

「清温育」は、東北地方の主流である飼育方法で、暖房を用い蚕当計《寒暖計の一種》により温度・湿度を管理する「温暖育」と、自然通気による養蚕法の「清涼育」の折衷的な養蚕方法である。この方法の要点を列挙すると、

① 蚕は温かいときは、食欲旺盛で消化力も強いので、桑が豊富なときは蚕室を温め、桑が不足気味の時は温度を下げる。
② 眠期に入る直前は、食欲が旺盛なためそのときに給桑量を増やすと丈夫な蚕が出来る。
③ 蚕は湿気・乾燥を嫌うため、炭火による温めすぎの濁った空気を抜くことが大切である。
④ 蚕は適当に乾燥した状態が良い。
⑤ 桑は新鮮さを保つ為、大きめに切り揃える。

高山社跡の蚕室の様子

養蚕技術の普及にあたり、明治17年２月「養蚕改良高山社」を設立し高山長五郎が社長に就任した。会社は本社と伝習所から成り、本社では各地の養蚕農家を指導する「派遣授業員」の制度が設けられており、伝習所では生徒を募集している。伝習所の入学資格は18歳以上の者とされ、３年で卒業となった。

授業内容は、蚕種貯蔵法、蚕種催青法、蚕兒飼育法、蚕種製造法、生繭殺蛹法、繭貯蔵法、蚕室構造法、顕微鏡使用法、桑樹栽培法の９科目であった。終には、「清温育」の名声が高まり生徒が増加し、伝習所だけでは対応ができなくなり、分教場で教えるようになった。

明治19年高山長五郎死去、享年56歳。町田菊次郎が社長に就任。明治20年一層の拡大を図るため藤岡町（現藤岡市相生町）へ事務所と伝習所を移した。明治23年「実業学校令」公布にともない明治34年「甲種農業学校」として開校した。明治期に於ける全国唯一の私立甲種養蚕学校であった。事後、約40年間日本の養蚕業の指導的役割を果たした高山社は、官による養蚕学校の相次ぐ開校のため生徒数減少に伴い、昭和２年に廃校となった。

養蚕学校跡地は再開発され、往時の地割・建物は残っていない。高山社の往時を知る遺構として唯一高山社発祥の地がほぼ同じ地割のまま現存している。これが高山家であり、世界遺産「高山社跡」なのである。

投稿コーナー

「マッサン」と毛利先生

川島紀男

所長時代の毛利先生

私はＮＨＫ総合テレビの連続テレビ小説（通称朝ドラ）を観たことが、あまりありませんでした。ところが今年の初めに、『赤毛のアン』の翻訳者村岡花子の生涯をドラマ化しました『花子とアン』が始まるという事を知り、『花子とアン』を観ることにしました。そして、『花子とアン』が終盤に近づくと、次の『マッサン』の宣伝がされるようになりました。『マッサン』は、ニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝氏とリタ夫人の生涯を、フィクションを交えてドラマ化したものです。

私は酒を飲まないのでウィスキーには興味がありませんが、気になることがありました。それは、２００６年４月から２０１１年３月まで５年間、埼玉学習センターの所長をされていた毛利信男先生が、在任中にされた講演で聴いた話です。毛利先生が退任されて３年たちますので、近年入学された学生さんは、ご存知ない方が多くおられると思います。先生は在任中に、ＣＳＣ交流会の設立・生涯学習奨励賞の設置・埼玉フェスタの開催・学生新聞の創刊などを実現され、埼玉学習センターの活性化にご尽力されました。

私は学生生活やサークル活動を通して、通信制大学の活性化の困難さをひしひしと感じていましたので、毛利先生は多くのことをされ、埼玉学習センターがよくここまで活性化したと思います。これらの事から、今でも当時のＣＳＣ交流会関係者から先生は慕われております。私個人へは、かつて「サークルおおみや」の会長をしていたために、お目にかかる度にお声掛けをしていただいておりました。

先生は北海道余市町出身で、ニッカウヰスキー余市工場の近くに住まわれていました。子供の頃に家が火事になり、ニッカウヰスキーの工場内の敷地に住まわれた事があったということを話されていました。そこで、もしかすると、毛利家の人々と竹鶴夫妻は接点があったのではないかと思い、インターネットで検索しましたら、いくつかエピソードが出てきました。

先生のお父様は獣医師をされており、竹鶴政孝氏とはよく囲碁をされたとか、リタ夫人の飼われていた犬を診察されたとか、リタ夫人が作られた料理を食べられたなどです。ちなみに竹鶴氏と先生との年齢差は46才です。先生の７才年下の弟さんは、宇宙飛行士で日本科学未来館館長の毛利衛氏です。衛さんは国民的有名人ですが、毛利家の人々が『マッサン』に登場するかどうかは判りません。しかし、私個人としては、登場することを期待しています。ということで、この秋は、『マッサン』を観ることが日課になっています。

先生が『マッサン』をご覧になられているかは判りません。この先、ドラマが終わり、機会がございましたら、先生に竹鶴家との思い出などを語っていただくか、書いていただけたらと思います。

生涯学習奨励賞金賞受賞者アンケート

―今年の秋、生涯学習奨励賞金賞を受賞された２名の方々にアンケートをお願いしたところ、両方の方から回答を頂いた。（敬称略・アイウエオ順）

Ｑ何がきっかけで放送大学に入学したのですか。（）内は、履修された全コース名

江川康範（自然の理解、産業と技術、生活と福祉、発達と教育、人間と文化）＝一流の先生方の講義が聞けるという事で、最初の10年くらい、放送は履修ではなく見るだけ、面接授業を中心に受講しました。

白鳥　誠（自然の理解、人間の探求、心理と教育、生活と福祉）＝50歳で会社生活において、社外の方々とのつき合いをする機会が増え、自らの教養不足を感じて放送大学を目指した。

Ｑ一番面白かった講義は何ですか。

江川＝回答なし

白鳥＝渡辺二郎先生の「自己を見つめる」。深い教養を感じた。「生き甲斐」「仕事」「他者」「死」などのテーマが、その後の私の人生に大きな影響を与えた。

Ｑ何か、記憶に残っている事がありますか。

江川＝超電導の実験、研修旅行、面接授業で地域の調査をした事。

白鳥＝オペラ関係の面接授業を受けて、オペラとはこんなに楽しいものと感動した事。

Ｑ在学生へのアドバイスがあれば、お願いします。

江川＝面接授業や学習センターの行事に参加すると、在学している実感が湧きます。

白鳥＝コツコツと単位を積み上げる事で、興味ある科目との出会いと達成感が、必ず味わえると思います。

Ｑ今後の目標は、どんな事ですか。

江川＝再入学しましたので、残り１コースを楽しみながら学びたいと思います。

白鳥＝残り２コースを、70歳までになんとか卒業したいと思っています。

CSC交流会からのお願い

第８回埼玉フェスタは、皆さまのご協力で、無事に終了しました。皆さんの沢山の思い出を是非、記録誌に寄稿して下さい。お待ちしています。担当は、野呂が承ります。

サークル案内

サークルおおみや

★12月10日（水）～11日（木）
研修旅行
「西伊豆・堂ヶ島を巡る」
詳細は別途、幹事より

ご案内
★1月8日（木）
「新年会」
場所、時刻は決定次第、幹事よりご連絡

朗読の会「こころ」

★定例活動日
毎月第２・第４木曜日
場所＝第５講義室
時間＝13時～16時半
★11月27日、12月11日、12月25日、1月8日
★体験歓迎

健康体操研究会

★毎週火曜日に開催
11月25日、12月2日、12月9日、16日、2月10日、17日、24日
時間＝10時半～12時

★12月16日は親睦会
★体験歓迎

江戸時代の古文書を読む会

★定例勉強会
11月22日（土）
12月13日（土）

囲碁専科

★毎週火曜日に定例会
場所＝第３講義室
11月は25日

放送大学熟年会

★定例会・勉強会＝
毎月第２火曜日
・場所＝第１講義室
★パソコン楽習会＝
第２以外の火曜日
10時15分～15時15分
午前中ワード、午後インターネットなど
★12月9日（火）定例会
・定例連絡＝12時～
場所＝第１講義室
終了後、「大忘年会」
時間＝13時～16時
場所＝大宮徳樹庵
・費用＝４千円
★忘年会のため、勉強会はお休み
★1月のイベント
・開催日＝1月16日（金）
「防災センターと地下鉄博物館見学」
集合場所＝大宮駅中央南改札内
集合時間＝8時45分
★防災センターでは、防災シアター、地震体験、消火体験、煙体験、応急体験等を予定
参加希望者は要申込

俳句

種採りや都電かすめる三味の音　明美
風神の目の祖父似なる秋潟　由美
ガラス瓶口まで満たる種を採る　規子
苦瓜の由緒正しき種を採る　八重子
種採や書架にをさまる花図鑑　安代
再びのいのちを紡ぐ種を採る　保子
朝茶事の毛氈におく実紫　とく江
黒柿の鈍き光や国訛り　光娥
乾坤の黒一粒の種を採る　十詩

（つみ草）

編集後記

読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、そして、なんと言っても、放送大学の学生としては、勉学の秋。秋を楽しんでいますか？35号も皆さまのおかげで無事に発行できました。次号もよろしくお願い致します。（冬）